



# 令和5年度 松江市立皆美が丘女子高等学校 女子高だより 第2号

女子高だよりは女子高の“今”を  
皆さまにお届けします

発行日 令和5年5月22日(月)

「手書きのはがき」から思うこと

教頭 山中 清恵

先日、恩師から宛名も文書もすべて手書きのはがきが届きました。遠筆で文面も素敵。先生の顔がふっと思い浮かび、何度も読み返しては、ほっこりと落ち着いた気持ちにさせられました。

私はというと、パソコンのはがきソフトで文面やレイアウト、書体や文字サイズを考え、「はがきはパソコンで作成するもの」になっています。全文手書きしたはがきを送ったのはいつ、誰にだったのか、思い出すことさえできません。たった1枚のはがきをつくるのもパソコンに頼っています。1度パソコンで作成したはがきは、応用も利くし、時間の短縮にもなるので、便利といえはそれまでかもしれません。それでも、活字体だけのはがきではいささか寂しい気がして、必ず手書きでちょっとしたメッセージを入れて送ることにしています。

手書きのはがきや手紙をもらうことは、それだけで嬉しく、心温まるは私だけではないはずです。ではなぜ手書きにしないのか。それは、途中で失敗したら書き直し、しかも手書きは時間がかかるからと思っている以上に、自分が書いた文字で意を伝えることに、今は抵抗感があるからです。

何年か前から簡単な日記を書いています。自分だけが見るものであれば抵抗感はありません。スケジュールもスマホに入れていましたが手帳に書くようにしました。年を重ねるにつれて、書くことと、進化していく情報化社会のICT機器をそれなりに上手く使えるようになりたいとは思っていますが、どちらも上手くはいいません。それでも、私自身、手で書くことと活字体をさまざまな場面で使い分けができたり、上手く融合できたりするといいなあとは思っています。

これからまだまだ文明の進化は続きます。取り残されそうでこわい気もしますが、手書きもICT機器もそれなりに使える「二刀流」になれるよう、いつまでも「学ぶ」姿勢を忘れず、年を重ねていきたいと思っています。

近い将来、手書きのはがきを恩師に送ることが私の目標です。



4月19日(水)に生徒たちは遠足へ行ってきました！  
各学年、遠足の様子をご覧ください！

1年生遠足

～出雲大社・松江フォーゲルパーク～



2年生遠足

～とっとり花回廊・水木しげるロード～



3年生遠足

～蒜山高原センター～



発行元

松江市立皆美が丘女子高等学校

住所 松江市西尾町540番地1

TEL 0852-39-0216 (事務室)

0852-39-0217 (職員室)

FAX 0852-39-0829

URL

<https://minamigaoka-girls-hs.matsue.ed.jp/>